

「塾とは？」と問われたなら、何と答えますか！

私は「先人の経験から生まれた知恵を次の世代へ伝え、いかに活用するかを考える組織である」・・・と答えることにしています。かつて幕末、相次ぐ天災によって疲弊した日本・・・(デフレ不況の中にある、今の日本の状況と酷似しています。)

黒船来港、外圧に対し既存の社会制度が機能不全となっている状況にあって、全国の塾によって育てられた若者達は奮起し明治維新は立派になされました。

若し彼らの先見性、命がけの勇気がなければ日本は植民地化しただろうとの説もあります。現代の日本もまた、同じ様相であります。

戦後の日本は、金を稼ぐことばかりを追いかけすぎ、人を育てることを怠ってしまったことをかつて申し上げました。こうした反省を踏まえた上で、人材育成が焦眉の急といえます。

人は群れを作って共に生きる社会性を最も大切にして生きる動物であります。群れとは知恵を出し合い、分かち合い、助け合って共に生きることが基本理念であります。群れから離れたら生きて行けない厳しい習性があります。

不況を生き抜くには、こうした“群れ”による思考を取り戻すことが必要であります。また、群れを構成するメンバーとは単なる友人でなく、同志であるべきであります。

本気で自分の弱みを見せ合える仲間であり、信頼と勇気を与えてくれる仲間でなければなりません。こうした真の仲間づくりを行なわなかったことが、君津に何度か訪れた絶好のチャンスを地域として活かすことができなかった大きな原因の一つではないかと思っています。

この6月に発足した希満塾は、これから訪れるチャンスをとらえ、仲間達と一緒に栄え、次の時代へと継承する役目を担うことを目的としたものです。

人の幸せは、生まれた土地で育ち、その地で学び、そして妻子を育み、一緒に暮して、生まれた土地で一生を終えることであります。

こうした君津を作るために一人でも多くの方が希満塾に参加されることに期待しております。

会社(店)の実質経営者である奥さんにもぜひご参加をいただきたいと思います。

